

武蔵野市民科カリキュラム作成委員会（第2回）

■日時：平成29年11月14日（火）午後3時～午後4時45分

■場所：市役所教育委員会室

次 第

1 開会

2 議事

- (1) 前回の振り返り（武蔵野市民科の必要性について）
- (2) 武蔵野市民科の目標について

3 その他

4 閉会

配布資料

- ・事務局説明資料

武蔵野市民科カリキュラム 作成委員会（第2回） 事務局説明資料

平成29年11月14日（火）

～目次～

1. 武蔵野市民科の必要性

(1) 第1回の議論から捉える武蔵野市民科の必要性	2
---------------------------	---

2. 武蔵野市民科の目標

(1) 武蔵野市民科の目標（案）	3
------------------	---

(2) 武蔵野市民科で育みたい資質・能力（たたき台②）	4
-----------------------------	---

(3) 縦軸の枠組みについて	5
----------------	---

(4) 「自立」に関する項目について	6
--------------------	---

(5) 「協働」に関する項目について	11
--------------------	----

(6) 「社会参画」に関する項目について	14
----------------------	----

3. 武蔵野市民科の教育課程上の位置付け

(1) 実施する教科等について（たたき台）	17
-----------------------	----

(2) 実施する学年について（素案）	18
--------------------	----

1-(1) 第1回の議論から捉える武蔵野市民科の必要性

複雑で予測困難な時代

グローバル化、社会構造の変化、生産人口の減少、地域のつながりの希薄化…など

武蔵野市の良さ

地域の高い教育力、高い市民意識、市政への市民参加…など

子どもの実態と目指す姿

地域・社会とのつながりに気づき、子どもたちの社会参画意識を更に醸成

「市民性を育む教育」を武蔵野市立小・中各学校の
カリキュラム・マネジメントの中核へ

「武蔵野市民科」

学校ごとの特色ある
市民科の取組を発信

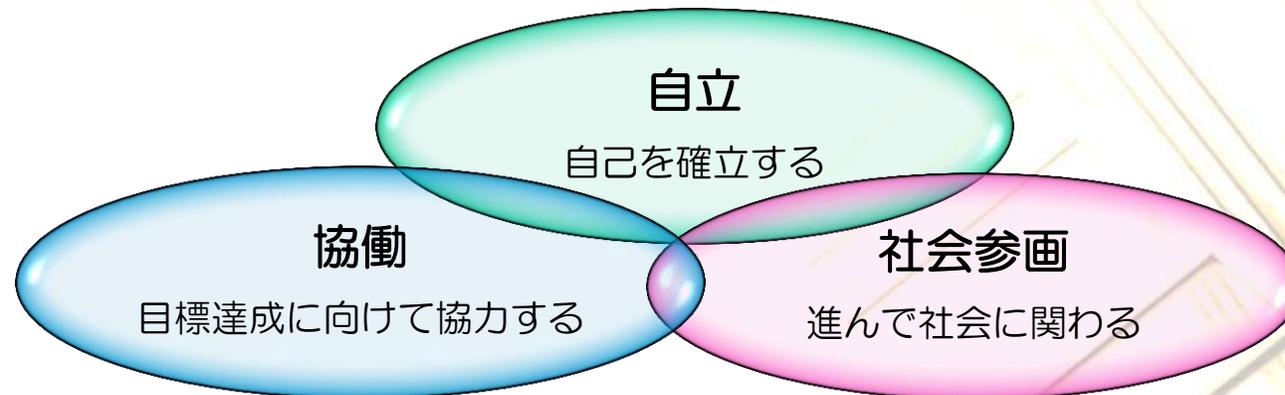
市民科を通して保護者の
地域参画も促す

2. 武蔵野市民科の目標

(1) 武蔵野市民科の目標（案）

社会の変化や課題に対し、他者と協働し、主体的に取り組むことをとおして、よりよい地域、社会づくりに参画し、幸福な人生の創り手となるための資質・能力（市民性）を育てる。

<市民性を構成するキーワード>



2. 武蔵野市民科の目標

(2) 武蔵野市民科で育みたい資質・能力（たたき台②）

	自立 (自己を確立する)	協働 (目標達成に向けて協力する)	社会参画 (進んで社会に関わる)
主に「生きて働く知識・技能」などに関する項目	<ul style="list-style-type: none">自己理解、自己管理能力	<ul style="list-style-type: none">他者理解、人間関係形成能力	<ul style="list-style-type: none">地域や社会的課題などへの理解
主に「思考力・判断力・表現力」などに関する項目	<ul style="list-style-type: none">情報活用能力クリティカル・シンキング	<ul style="list-style-type: none">目標の達成に向け、他者と協働する力	<ul style="list-style-type: none">よりよい地域・社会づくり向け、主体的に計画・行動する力
主に「学びに向かう力や人間性」などに関する項目	<ul style="list-style-type: none">規範意識、責任感自尊感情	<ul style="list-style-type: none">よりよい生活を協働で築こうとする態度自己有用感	<ul style="list-style-type: none">公共心や社会連帯精神

2. 武蔵野市民科の目標

(3) 縦軸の枠組みについて

主に「生きて働く知識・技能」などに関する項目

主に「思考力・判断力・表現力」などに関する項目

主に「学びに向かう力や人間性」などに関する項目

小学校 新学習指導要領解説 総則編より（一部省略）

（略）豊かな創造性を備え持続可能な社会の創り手となることが期待される児童に生きる力を育むことを目指すに当たっては、学校教育全体並びに各教科等の指導を通してどのような資質・能力の育成を目指すのかを明確にしながら、教育活動の充実を図るものとする。

その際、児童の発達の段階や特性等を踏まえつつ、次に掲げることが偏りなく実現できるようにするものとする。

- (1) 知識及び技能が習得されるようにすること。
- (2) 思考力、判断力、表現力等を育成すること。
- (3) 学びに向かう力、人間性等を涵養すること。

（中学校学習指導要領でも同様の記載）

2. 武蔵野市民科の目標

(4) 「自立」に関する項目について

自立

(自己を確立する)

・自己理解、 自己管理 能力

- ・情報活用
能力
- ・クリティ
カル・シ
ンキング
- ・規範意識、
責任感
- ・自尊感情

自己理解・自己管理能力について

○自分が「できること」や「したいこと」などについて、「やればできる」と、自分の可能性を含めた肯定的な理解を深めること。

～具体的な要素～

- ・自己の役割の理解
- ・自己の動機付け
- ・ストレスマネジメント
- ・前向きに考える力
- ・忍耐力
- ・主体的行動 など

(文部科学省「小学校キャリア教育の手引き<改訂版>」平成23年5月を参考)

2. 武蔵野市民科の目標

(4) 「自立」に関する項目について

自立

(自己を確立する)

・自己理解、
自己管理
能力

・情報活用 能力

・クリティ
カル・シ
ンキング

・規範意識、
責任感
・自尊感情

情報活用能力について

○学習活動において必要に応じてコンピュータ等の情報手段を適切に用いて情報を得たり、情報を整理・比較したり、得られた情報をわかりやすく発信・伝達したり、必要に応じて保存・共有したりといったことができる力。

～具体的な要素～

- ・情報手段の基本的な操作
- ・情報モラル
- ・統計等に関する資質・能力 など
- ・プログラミング的思考
- ・情報セキュリティ

(文部科学省「小・中学校 新学習指導要領解説総則」編平成29年7月より)

2. 武蔵野市民科の目標

(4) 「自立」に関する項目について

自立

(自己を確立する)

- 自己理解、自己管理能力
- 情報活用能力
- **クリティカル・シンキング**
- 規範意識、責任感
- 自尊感情

クリティカル・シンキングについて

○批判的思考とも呼ばれ、他者の考えを認識しつつ自己の考えについて前提条件やその適用範囲などを振り返るとともに、他者の考えと比較、分類、関連付けなどを行うことで、多様な視点からその妥当性や信頼性を吟味し、考えを深める力。

～具体的な要素～

- 事実と意見を区別すること
- 目標や課題を意識すること
- 根拠を吟味すること
- 多面的な視点で考えること
- 論理的な考えで整理することなど

(多摩教育事務所「所報たまじむ第3号」平成24年2月より)

2. 武蔵野市民科の目標

(4) 「自立」に関する項目について

自立

(自己を確立する)

- 自己理解、自己管理能力
- 情報活用能力
- クリティカル・シンキング
- **規範意識、責任感**
- 自尊感情

規範意識について

○社会のルールの大切さを理解し、守る態度。

～具体的な要素～

- 集団の約束やきまり、法の意義を理解し、遵守すること
- 自他の権利を大切にし、規律ある安定した社会の実現に努めること

(文部科学省「小・中学校 新学習指導要領解説道徳編」平成29年6月)

(東京都教職員研修センター「多様な教育課題に対応したカリキュラムモデル」平成27年9月)を参考

責任感について

○行動したことによる自己責任を果たそうとする態度。

～具体的な要素～

- 自主的に考え、判断し、実行した結果に責任をもつこと

(文部科学省「小・中学校 新学習指導要領解説道徳編」平成29年6月)を参考

2. 武蔵野市民科の目標

(4) 「自立」に関する項目について

自立

(自己を確立する)

・自己理解、
自己管理
能力

・情報活用
能力
・クリティ
カル・シ
ンキング

・規範意識、
責任感
・**自尊感情**

自尊感情について

○自己に対して肯定的な評価を高めていこうとする態度。

～具体的な要素～

- ・褒められて、自分への自信をもつこと

(生徒指導・進路指導研究センター「生徒指導リーフ18 『自尊感情』？
それとも、『自己有用感』？」平成27年3月)を参考

2. 武蔵野市民科の目標

(5) 「協働」に関する項目について

協働

(目標達成に向けて協力する)

・他者理解、 人間関係 形成能力

・目標の達成に向け、
他者と協働する力

・よりよい生活を協働で築こうとする
態度
・自己有用感

他者理解・人間関係形成能力について

○他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝える力や集団活動における行動の仕方。

～具体的な要素～

- ・他者の良さを発見すること
- ・違いを認め合うこと
- ・チームワークの重要性
- ・集団活動における役割分担
- ・コミュニケーション・スキル など

(文部科学省「小学校キャリア教育の手引き<改訂版>」)

(文部科学省「小・中学校 新学習指導要領解説 特別活動編」平成29年6月)を参考

2. 武蔵野市民科の目標

(5) 「協働」に関する項目について

協働

(目標達成に向けて協力する)

- 他者理解、人間関係形成能力

- **目標の達成に向け、他者と協働する力**

- よりよい生活を協働で築こうとする態度
- 自己有用感

・ **目標の達成に向け、他者と協働する力について**

- 目標や課題を共有し、他者の立場を尊重して話し合い、力を合わせて活動する力。

～具体的な要素～

- 学級や学校生活における目標や課題を見いだすこと
- よりよい合意形成を図ったり、意思決定したりすること
- 合意形成したことを基に協働し、よりよい生活を築くこと

(文部科学省「小・中学校 新学習指導要領解説 特別活動編」平成29年6月)

(東京都教職員研修センター「多様な教育課題に対応したカリキュラムモデル」平成27年9月)を参考

2. 武蔵野市民科の目標

(5) 「協働」に関する項目について

協働

(目標達成に向けて協力する)

・他者理解、
人間関係
形成能力

・目標の達成に向け、
他者と協働する力

・よりよい生活を協働で築こうとする態度
・自己有用感

・よりよい生活を協働で築こうとする態度について

○学級や学校生活などをよりよいものにしようと、具体的な計画立案を協働で行い、実践しようとする態度

～具体的な要素～

- ・自主的、実践的な集団活動
- ・リーダーシップ、フォロワーシップ

(文部科学省「小・中学校 新学習指導要領解説 特別活動編」平成29年6月)を参考

自己有用感について

○他人の役に立った、喜んでもらえた等、他者からの評価によって自己の肯定的な評価を高めていこうとする態度。

～具体的な要素～

- ・認められて、自分への自信をもつこと

(生徒指導・進路指導研究センター「生徒指導リーフ18 『自尊感情』？

それとも、『自己有用感』？」平成27年3月)を参考

自尊感情

自己有用感

2. 武蔵野市民科の目標

(6) 「社会参画」に関する項目について

社会参画

(進んで社会に関わる)

・地域や社会的課題などへの理解

・よりよい地域・社会づくり向け、主体的に計画・行動する力

・公共心や社会連帯精神

地域や社会的課題などへの理解について

○自分が住む地域の特徴などに対する理解や、社会的な要請により求められている各種の教育課題への理解を深めること。

～具体的な要素～

- ・国際理解（地域に暮らす外国人やその文化や価値観）
- ・情報（情報化の進展等）
- ・環境（身近な自然環境と環境問題）
- ・福祉（身の回りの高齢者と支援する仕組みや人々）
- ・健康（毎日の健康や生活とストレスのある社会）
- ・資源エネルギー（消費生活と資源エネルギーやエネルギー問題）
- ・食（食を巡る問題と地域の生産者）
- ・科学技術（科学技術の進歩と自分たちのくらしの変化）
- ・まちづくり ・伝統文化 ・地域経済 ・防災
- ・キャリア ・ものづくり ・生命

(文部科学省「小・中学校 新学習指導要領解説 総合的な学習の時間編」平成29年6月)
(東京都教職員研修センター「多様な教育課題に対応したカリキュラムモデル」平成27年9月)を参考

2. 武蔵野市民科の目標

(6) 「社会参画」に関する項目について

社会参画

(進んで社会に関わる)

・地域や社会的課題などへの理解

・よりよい地域・社会づくり向け、主体的に計画・行動する力

・公共心や社会連帯精神

よりよい地域・社会づくり向け、

主体的に計画・行動する力について

○社会の一員として自分に求められている役割を考え、主体的に計画、行動する力。

～具体的な要素～

- ・実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにすること
- ・地域や社会の一員として自分に求められている役割を自覚すること
- ・力を合わせて働くことや、自分の良さを生かすことについて考えること
- ・勤労や職業の理解を深め、自己実現との関係について考えること
- ・社会の一員として社会の発展のために貢献する活動をする事 など

(文部科学省「小・中学校 新学習指導要領解説 特別活動編」平成29年6月)

(文部科学省「小・中学校 新学習指導要領解説 道徳編」平成29年6月)

(文部科学省「小・中学校 新学習指導要領解説 総合的な学習の時間編」平成29年6月)

(東京都教職員研修センター「多様な教育課題に対応したカリキュラムモデル」平成27年9月)を参考

2. 武蔵野市民科の目標

(6) 「社会参画」に関する項目について

社会参画

(進んで社会に関わる)

・地域や社会的課題などへの理解

・よりよい地域・社会づくり向け、主体的に計画・行動する力

・**公共心や社会連帯精神**

公共心や社会連帯精神について

- 公共心とは、社会全体の利益のために尽くす精神。
- 社会連帯精神とは、社会生活において、一人一人が共に手を携え、協力し、誰もが安心して生活できる社会をつくっていかうとする精神。

～具体的な要素～

- ・働く意義や社会に奉仕する喜び
- ・自分が社会の一員であるという自覚
- ・進んで社会と関わり積極的な生き方を模索する態度

(文部科学省「小・中学校 新学習指導要領解説 特別活動編」平成29年6月)

(文部科学省「小・中学校 新学習指導要領解説 道徳編」平成29年6月)

3. 武蔵野市民科の教育課程上の位置付け

(1) 実施する教科等について（たたき台）

	自立 (自己を確立する)	協働 (目標達成に向けて協力する)	社会参画 (進んで社会に関わる)
主に「生きて働く知識・技能」などに関する項目	<ul style="list-style-type: none"> 自己理解、自己管理能力 	<ul style="list-style-type: none"> 他者理解、人間関係形成能力 	<ul style="list-style-type: none"> 地域や社会的課題などへの理解
主に「思考力・判断力・表現力」などに関する項目	<ul style="list-style-type: none"> 情報活用能力 クリティカル・シンキング 	<ul style="list-style-type: none"> 目標の達成に向け、他者と協働する力 	<ul style="list-style-type: none"> よりよい地域・社会づくり向け、主体的に計画・行動する力
主に「学びに向かう力や人間性」などに関する項目	<ul style="list-style-type: none"> 規範意識、責任感 自尊感情 	<ul style="list-style-type: none"> よりよい生活を協働で築こうとする態度 自己有用感 	<ul style="list-style-type: none"> 公共心や社会連帯精神

武蔵野市民科は、総合的な学習の時間、道徳科、特別活動等の学習内容を教科等横断的な視点で単元を構成する。

3. 武蔵野市民科の教育課程上の位置付け

(2) 実施する学年について①（子どもの発達段階の特徴と重視すべき課題）

～小学校低学年～

「大人が『いけない』と言うことは、してはならない」と、大人の言うことを守る中で、善悪についての理解と判断ができるようになる。また、言語能力や認識力も高まり、自然等への関心が増える時期。

～重視すべき課題～

- ・「人として、行ってはならないこと」についての知識と感性の涵養や、集団や社会のルールを守る態度など、善悪の判断や規範意識の基礎の形成
- ・自然や美しいものに感動する心などの育成（情操の涵養）

～小学校高学年～

対象との間に距離をおいた分析ができるようになり、知的な活動においてもより分化した追究が可能となる。自分のことも客観的にとらえられるようになるが、発達の個人差も大きく見られることから、自己に対する肯定的な意識をもてず、自尊感情の低下などにより劣等感をもちやすくなる時期でもある。

～重視すべき課題～

- ・抽象的な思考の次元への適応や他者の視点に対する理解
- ・自己肯定感の育成
- ・自他の尊重の意識や他者への思いやりなどの涵養
- ・集団における役割の自覚や主体的な責任意識の育成
- ・体験活動の実施など実社会への興味・関心をもつきっかけづくり

3. 武蔵野市民科の教育課程上の位置付け

(2) 実施する学年について②（子どもの発達段階の特徴と重視すべき課題）

～青年前期（中学校）～

思春期に入り、親や友達と異なる自分独自の内面の世界があることに気づきはじめるとともに、自意識と客観的事実との違いに悩み、様々な葛藤の中で、自らの生き方を模索しはじめる時期。また、大人との関係よりも、友人関係に自らへの強い意味を見いだす。

さらに、親に対する反抗期を迎えたり、親子のコミュニケーションが不足しがちな時期でもあり、思春期特有の課題が現れる。また、仲間同士の評価を強く意識する反面、他者との交流に消極的な傾向も見られる。

～重視すべき課題～

- 人間としての生き方を踏まえ、自らの個性や適性を探求する経験を通して、自己を見つめ、自らの課題と正面から向き合い、自己の在り方を思考
- 社会の一員として他者と協力し、自立した生活を営む力の育成
- 法やきまりの意義の理解や公德心の自覚

（19、20ページは、文部科学省HP「子どもの徳育の充実に向けた在り方について（報告）（子どもの発達段階ごとの特徴と重視すべき課題）」平成21年9月）を参考

3. 武蔵野市民科の教育課程上の位置付け

(2) 実施する学年について（素案）

中学校第2～3学年
社会的自立の促進

自立 (自己を確立する)	協働 (目標達成に向けて協力する)	社会参画 (進んで社会に関わる)
<ul style="list-style-type: none"> 自己理解、自己管理能力 情報活用能力 クリティカル・シンキング 規範意識、責任感 自尊感情 	<ul style="list-style-type: none"> 他者理解、人間関係形成能力 目標の達成に向け、他者と協働する力 よりよい生活を協働で築こうとする態度 自己有用感 	<ul style="list-style-type: none"> 地域や社会的課題などへの理解 よりよい地域・社会づくり向け、主体的に計画・行動する力 公共心や社会連帯精神
<p>小学校高学年 (第5・6学年)</p>	<p>中学校 (第1学年)</p>	

小学校第1～4学年
社会性の基盤となる道徳性の育成